

第8次(前期)福島県医師確保計画(素案)に対する意見と対応案

○パブリック・コメントによる意見

No.	頁	行	該当箇所	意見(修正案)	対応案
1	63	16		第8次福島県医療計画(素案)では、相双医療圏の周産期医療協力施設として、公立相馬総合病院と南相馬市立総合病院が記載されている。であるならば、南相馬市立総合病院も対象として追加されるべきではないか。	御指摘のとおり、医療計画の記載に合わせて、南相馬市立総合病院を追加しました。
2	65	2		「医師が更に減少した状況を改善するし」は「医師が更に減少した状況を改善し」の誤りではないか。	御指摘のとおり修正しました。

○医療審議会、地域医療対策協議会、保険者協議会、市町村、保健福祉事務所からの意見

No.	頁	行	該当箇所	意見(修正案)	対応案
1	目次	3	第2節 計画の位置付け について	本文中の節名が「位置づけ」と平仮名表記されているため、統一してはどうか。	御指摘のとおり修正しました。
2	3	3		「・・・ガイドライン」(・・通知)では、地域医療対策協議会において、～」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。
3	3	3	1 計画の評価の位置付け について	第2節で「位置づけ」と平仮名表記に統一した場合、こちらも統一してはどうか。	御指摘のとおり修正しました。
4	4	5		「年度」または「年」を御確認いただいた方が良いのではないかと。全体で記載は混在しているので、他の頁も確認願いたい。 (医師・歯科医師・薬剤師統計は、「年」記載と考える。)	御指摘のとおり修正しました。
5	4	10		「令和2年の1,695件から令和5年は1,993件」との記載について、令和5年の件数の確認をお願いしたい。 ⇒「2,010件」ではないか。または、用いるデータや計算方法が違うのか。	令和5年12月時点の件数に修正しました。
6	4	16		「～一定の成果はみられるところです。一方で、臨床研修医や～」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。
7	6	25		「県全体の医師」または「県全体の医師数」ではどうか。	「県全体の医師は」に修正しました。
8	6～9		「県北医療圏」について	目標医師数の達成状況について、県北医療圏に県立医大が含まれており、「他医療圏への診療支援を担っている県立医大」との文言が各評価の中にみられる。このような書き方では、本来の県北医療圏の状況がわからないのではないかと。他医療圏で診療支援を行っている医師は、県北医療圏で診療支援を行っているわけではないので、その人数を含めて評価することは、県北医療圏の医師の状況を正確に捉えられないのではないかと危惧する。県立医大があるためA評価とみられるが、県立医大を除いた場合にはどのような評価なのかを知りたい。	御意見につきましては今後の参考とさせていただきます。なお、県北医療圏の医師の確保の考え方につきましては、35頁28行目に記載されております。
9	9	32	既存の医師確保対策事業の見直しとともに更なる新たな施策～	当然必要なことは思うが、具体的な内容がないので、絵空事のように聞こえる、もう少し具体的な施策についての言及をしないと訴えるものが感じられない。	9頁32行目に「このような課題を踏まえ、「第6章 医師確保のための施策」で示している医師確保対策事業を進める中で、事業の見直しや新たな施策なども検討しながら医師の養成・確保・定着に取り組むこととします。」と下線箇所を追加しました。
10	9	30	「～専門研修医が十分な確保に至らなかったことや県立医大医学部卒業生の一定の割合の方に県内の医療機関での研修を～」の記載箇所について	「～専門研修医が十分に確保できなかったことや県立医大医学部卒業生が一定の割合で県内医療機関での研修を～」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。
11	9	23	2 医師確保の方針について	4 医師確保の方針について の誤りではないか。	御指摘のとおり修正しました。
12	10	10	医療施設従事医師数の推移グラフについて	表3-1-2 グラフ名 の記載が抜けている。	御指摘のとおり、「図表3-1-2 医療施設従事医師数の推移グラフ」と記載しました。
13	12	2	「～表したものです。2年頃に厚生労働省で～」の文章のつながり	「～表したものです。これは、2年毎に厚生労働省で～」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。

No.	頁	行	該当箇所	意見(修正案)	対応案
14	17	2	「全国平均より高い状況となっている一方で、30歳代未満は、全国平均と比較して若干上回っておりますが、全体的な年齢構成でみると、～」	「全国平均より高い状況となっています。一方で、30歳未満は、～」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。
15	18	1	「～女性医師も働きやすい～」の記載	「～女性医師が働きやすい～」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。
16	19	11		どちらか1つの「特に」の記載ではどうか。	11行の「特に」を削除しました。
17	22	17	「～将来も継続するものとして推計するものとし、～」の記載	「～将来も継続するものとして推計し、～」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。
18	32	9,10	「本県の二次医療圏の医師確保の方針」について	医師多数でも少数でもない区域である医療圏は、県として医師少数県を脱却し、更に必要な医師の確保を行うこととします。 →県として医師少数県を脱却するために、更に必要な～としてはどうか。	御指摘のとおり修正しました。
19	33		確保すべき医師数について	「診療科ごとの医師確保」について、整形外科などの確保について記載するのであれば、重症化しやすい糖尿病や、腎臓病の専門医などの確保について記載が必要である。	診療科については、19の専門医の基本領域を基にデータを作成しており原案のとおりとさせていただきます。なお、御意見につきましては今後の施策を検討、実施するにあたり参考とさせていただきます。
20	35	29	「～県立医大と医大以外に分けると表5-2-3のように分けてみるができます。」の記載	「～県立医大と医大以外に分けると表5-2-3のようにみることができます。」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。
21	37	35	「なお、本県のみの特徴として、～」の記載	「なお、本県の特徴として、～」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。
22	39	14	「～本県の現状や魅力などを県内の情報を県外に発信し～」の記載	「～本県の現状や魅力などの県内情報を県外に発信し～」ではどうか。 ※ 本文が長文であるため、文書を区切っても良いのではないかと感じる。	御指摘のとおり修正しました。
23	42		県外指導医等の招へい活動について	地域医療支援センターに県外指導医等の招へい活動を行う部門があるとのことだが、具体的には？	地域医療支援センターに県立医大教授1名(副センター長兼専任コーディネーター)と事務職員1名を中心に、県外からの医師招へいを行っています。
24	42	4	引き続き、県立医大と連携しながら～	医師派遣については、県立医大と連携するだけではなく、近隣県の医科大学にもアプローチをするべきではないか？県立医大へのみの派遣要請では、すでに限界が見えており、これ以上の増加が見込めないならば、他大学へのアプローチに積極的に取り組むべきと考えられる。県立医大だけにしられる必要はないでしょう。 医師確保計画は、地域医療の存続には欠くことのできない重要な施策です。医療構想を円滑に進めるためにも必要なものと言えそうですが、今までの施策は、決して十分満足のいくものとは思えません。新たな施策を展開するのであれば、今までの県立医大一辺倒の方向性から脱却し、県立医大以外の大学にもアプローチをするべきでしょう。その際は地域性も考慮に入れて、各地域でターゲットとする大学を変更することも重要かと考えます。県立医大だけに縛られるのはおかしい。	42頁3行目以降に「県立医大では、県内医療機関からの医師派遣の要請を受け、二次医療圏や医療機関の状況を勘案しながら医師の派遣を行っており、引き続き、県立医大や関係機関等と連携しながら～」と下線箇所を追加しました。 また、42頁6行目以降に「～県立医大に地域医療支援教員などを配置しており、引き続き、二次医療圏や医療機関の課題等を県立医大や関係機関等と共有しながら～」と下線箇所を追加しました。
25	42	2	「～県立医大から二次医療圏の医療機関に行っている医師の派遣状況です。」の記載	「～県立医大から医師を二次医療圏の医療機関に派遣している状況です。」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。
26	44他	14他	表6-2-3	表6-2-5の誤りであり、以降表名修正が必要ではないか。 また、文中に用いられている表名もすべて2ずつずれている。	御指摘のとおり修正しました。
27	49		将来世代の医師の確保、キャリア形成卒前支援プランについて	具体的な方策は？今までの成果は？	小中学生を対象とした医療従事者とのディスカッションはR4年度から、県内外の医学部生を対象とした地域医療に携わるセミナーなどを継続して実施するキャリア形成卒前プランはR5年度から開始しており、今後内容を見直ししながら成果に繋げていきます。

No.	頁	行	該当箇所	意見(修正案)	対応案
28	49	6	「小中学生を対象に医療の仕事や魅力を発信するため、web上で医師を含む医療職種の概要や働き方などを紹介し、将来の職業選択へのきっかけや進学先決定に際しての有効な情報提供していますが、今後は、web上で発信するだけでなく、～」の記載	「小中学生を対象に、将来の職業選択のきっかけや進学先決定に際しての有効な情報提供として、web上で医師を含む医療職種の概要や働き方などを紹介していますが、今後は、web上で発信するだけでなく、～」ではどうか。	御指摘のとおり修正しました。
29	52	27		記載するのであれば「～平成30年から令和2年の全国平均の同程度の推移となっています。本県は、全国的にみると～」ではどうか。	「～平成30年の全国平均と同程度となっています。本県は、全国的にみると～」に修正しました。
30	63	14		「※1 県立医大」の記載	「※1 県立医大附属病院」に修正しました。
31	63	16	岩瀬病院	公立岩瀬病院の誤りではないか。	御指摘のとおり修正しました。
32	63	16	・第4節産科(分娩取扱医)・小児科医師確保のための施策 周産期協力施設について	第8次福島県医療計画(本編)では、「公立相馬総合病院と南相馬市立総合病院の連携により周産期協力施設としての機能を確保します。」と記載されているが、第8次(前期)福島県医師確保計画では、公立相馬総合病院のみの記載となっている。 本編との整合性をどのようにするのか。南相馬市立総合病院も記載するのか。	御指摘のとおり、医療計画の記載に合わせて、南相馬市立総合病院を追加しました。
33	64		研究資金の貸与に関して	豊富な経験を持つ医師とあるが、具体的には？研究資金とは？研究内容に制約はあるのか、またどの部門でその研究が妥当かどうか判定するのか？	県内の医療機関がその医師に診療に従事してもらいたいという信用と信頼があり、将来も本県の医療に従事し続けたいという意志を持つ医師を対象としています。当該診療科にかかるものであれば研究内容に制約はなく、研究成果は研究期間終了後に当室に提出いただいています。
34	65	14	「ふくしま子ども・女性医療支援センターは東日本大震災により周産期医療に携わる医師が更に減少した状況を改善するし「本県に住む女性が安心して子どもを産み、育て、そして健康に一生を過ごすための医療支援を行う」ことを目的として、平成28年4月に県立医大内に開設しました。」の記載について	「医師が更に減少した状況を改善するし」「医師が更に減少した状況を改善し」の誤りと考えられるため、修正してはどうか。	御指摘のとおり修正しました。
35	66	20	(※4)全国の性年齢階級別受療率	(※4)全国の性年齢階級別調整受療率の誤りではないか。	御指摘のとおり修正しました。
36	67	9	無償診療所年少患者流出数調整係数(※7)	無床診療所年少患者流出調整係数(※7)の誤りではないか。	御指摘のとおり修正しました。
37	67	10	入院年少患者流出数調整係数(※8)	入院年少患者流出調整係数(※8)の誤りではないか。	御指摘のとおり修正しました。
38	全体			表のタイトルは表の上部に、図表のタイトルは図表の下部に記載するべきではないか。	医療計画の記載方法に合わせて、「表」をすべて「図表」に修正し、図表のタイトルは上部に記載しました。
39				医師の確保も当然、大切であるが、いわゆるタスクシフトで不足分を補っていく考え方を入れるべきではないか。	39頁22行目に「また、施策の実施に当たっては、特定行為研修修了看護師などの活用によるタスクシフト/タスクシェアの推進などを考慮するほか、～」と下線箇所を追加しました。
40		全体		本文中や図表の記載で、「福島県立医科大学」、「県立医大」、「県立医科大学」との記載が混在している。また、同様に「自治医大」、「自治医科大学」との記載がある。 ⇒統一した記載が望ましいのではないか。	「県立医大」、「自治医科大学」にそれぞれ統一しました。
41				図表と表、併せて通し番号を用いているが、番号は分けなくてよいのか。	医療計画の記載方法に合わせて、「表」をすべて「図表」に修正し、番号も通し番号としました。
42				組み合わせグラフについて、第1軸、第2軸にラベルがついていない (P10、P13、P52、P53)	御指摘のとおり修正しました。
43				図表のスケールが不一致である。(P10、P52、P53)	御指摘のとおり修正しました。

○事務局による修正

No.	頁	行	該当箇所	意見(修正案)	対応案
1	1	5		医療計画の概要について	医療計画の概要については医療計画本文に記載されていることから、削除しました。
2	10		図表3-1-1	令和4年の医師数について	令和4年の医師数については、最終案作成時点で厚生労働省から公表がされていないため表中から削除しました。なお、目標医師数や偏在指標はR2の医師数を基に算出しています。
3	24,26		図表4-3-1、 図表4-3-3	二次医療圏の順位について	全国の二次医療圏数を修正しました。
4	55,56		図表7-1-3、 図表7-1-4	二次医療圏の順位について	全国の分娩取扱医の二次医療圏数の修正と小児科医の二次医療圏数の記載を追加しました。
5			全般	その他、文言の統一、誤字脱字、分かりやすい表現の工夫等	その他、文言の統一、誤字脱字、分かりやすい表現への修正などを行いました。